



# 東野便り

## HIGASHINO DAYORI

学校法人  
盈進学園 東野高等学校  
総務部

東野高等学校 校長 平井 廣治

### 1 学期を終えるにあたって

謹啓

猛暑の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。今年度は「すべては探究」をキャッチフレーズとし、探究学習の充実を図って新たな取り組みを進めております。また、日々の授業をより充実させるべく、「レディネス」についての声掛けを強めてまいりました。これについては、来学期以降も継続していきたいと存じます。

さて、1 学期を終えるにあたって、終業式では以下のような話をいたしました。

今日で 1 学期が終わります。もちろん今年度は、2 学期・3 学期と続いていきますが、今日が一つの大きな区切りであることに間違いはありません。そして、区切りにやるべきことは「振り返り」です。では、何を振り返れば良いのか？それは東野生として、「知識は第一の宝、品行は最高の美、忍耐は無上の力」という「建学の精神」を体現できたかどうかについてです。1 学期の冒頭、始業式で皆さんと共有したいものとして「建学の精神」について話をしました。

「知識は第一の宝」…日々の授業は大切にできたでしょうか？もちろん、授業だけが学びではないですが、一番の基本となるのは日々の授業です。これに関して指標となるのは「レディネス」を意識・実践できていたかどうかです。折に触れて授業前や授業中の様子を見て回りましたが、全体としてまだまだ改善の余地はあるように感じます。特に省みてもらいたいのは、2 分前着席ができていたかどうかです。できていたという人はその継続を、できていなかったという人はその徹底を心がけてください。

「品行は最高の美」…日々の言動に気をつけることはできたでしょうか？ここでの指標は、「思いやり」を持った言動を心がけることができたかどうかです。残念ながら、人を傷つけるような言動、ルールを逸脱する行い、スクールバスでの恥ずべき振る舞いを見聞きしたこともありました。特に、「いじめ」や「暴力」は安心・安全な環境を脅かすものであり、絶対に許されるものではありません。これも繰り返しにはなりますが、「いじめ」は人の尊厳を踏みにじるものであり、場合によっては犯罪にも該当します。仮に「いじめ」をしている側がそのつもりはなかったとしても、その行為の責任を免れることはできません。なお、18 歳で成人となる社会において、高校生に向けられる社会からの目は時として非常に厳しいものとなることもあります。東野高校の一員として、社会の一員として、もう一度自分自身の言動を見直してみてください。

「忍耐は無上の力」…物事に粘り強く取り組むことはできたでしょうか？人生は思った通りに行くことばかりではありません。この 1 学期だけを振り返ったとしても、すべてが思い通りに行ったという人は恐らくいないのではないのでしょうか？しかし、成功は諦めずに歩み続けた先にあるものです。失敗したと思うことがあったのならば、その要因をしっかりと分析したうえで、今度はそれを乗り越えられるよう再び挑戦してみてください。



# 東野便り

## HIGASHINO DAYORI

学校法人  
盈進学園 東野高等学校  
総務部

さて、ここまでは1学期の「振り返り」について話してきましたが、この時期だからこそ振り返ってもらいたい、また思い返してもらいたいのが「平和の大切さ」です。「平和」について考える時、8月には記憶にとどめておかねばならない日が三つあります。一つ目は、8月6日…広島に原子爆弾が投下された日。二つ目は、8月9日…長崎に原子爆弾が投下された日。三つ目は、8月15日…多くの命が失われた第二次世界大戦の終戦が公表された日。現在は過去のうえに成り立っています。そして、我々が普通だと感じている日々の生活も、悲慘な戦争を経て成立した平和のうえに成り立っているものです。人間は、いかに大切なモノであっても、それがあまりに普通になってしまうと、その大切さを感じなくなってしまうことが多々あります。その最たるモノが「平和」ではないかと思います。平和を享受する身だからこそやらねばならないこと、それは過去に思いをはせ、「平和」の大切さを考え、その「平和」を未来につないでいくことです。また、「平和の大切さ」を考える時に、併せて考えてもらいたいのが「命の大切さ」です。自分自身の「命」も、他の人の「命」も、すべてかけがえのないものとして捉えること。それは、先ほど「品行は最高の美」の話をした時に述べた、「思いやりを持った言動」をするための大前提になるはずです。

明日から、約40日間の夏休みとなります。1年生は、来年度のコース・科目選択も見据えながら、自らの興味・関心が高いものは何か、じっくりと考えてみましょう。2年生は、修学旅行がより充実したものとなるように、事前にやるべきことを進めておきましょう。3年生は、自らの進路実現に向けて、後から悔いることのないようできる限りの努力をしましょう。40日間という期間は、自分自身に磨きをかけることも、また逆に自分自身を鈍らせてしまうこともできてしまいます。予め目標を定めたうえで、一日一日を有意義に過ごし、2学期が始まる9月1日に、皆さんがより一層成長した姿を見せてくれることを期待しています。

本校では夏休み期間中、部活動や講習、進路指導など、引き続き学びや挑戦の機会を設けています。ただ、どうしても学校以外の場所で過ごす時間が増える時期となりますので、ご家庭でもお子様の様子を気にかけていただくとともに、体調管理や学習の支援をお願いいたします。保護者の皆様方におかれましては、今後とも本校の教育活動に変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

学校法人  
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1  
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN  
SCHOOL FOUNDATION HIGASHINO HIGH SCHOOL112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN  
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665